

全職種平均が31万6600円

全ト協 トラック運送の賃金調査を発表

全ト協（坂本克己会長）は1日、トラック運送事業に携わる従業員の賃金や労働時間、福利厚生等の実態について調査した結果を「2020年度版トラック運送事業の賃金・労働時間等の実態」として取りまとめて発表、今後の労働環境の改

善のための基礎資料とする方針。ホームページでは概要版抜粋と全調査内容（会員のみ）と分析表等が閲覧・ダウンロードできる。

期間は「令和2年5～7月にきまって支給された給与の1か月平均額およびその時点における労働時間、福利厚生等の実態について、令和2年9月から10月にかけて」の調査で、調査票を郵送し、令和2年11月末までの調査票回収を行った。調査対象は「特

別積み合わせ貨物運送事業者」が179社、「一般貨物自動車運送事業者」が481社の計4660社。そのうち、回答事業者数は1027社（22.0%）で、有効回答事業者数は1018社（21.8%）だった。

調査結果によると、令和2年5～7月の3か月間で、支給された全職種の1人1か月平均賃金は、特積が31万4800円（対前年比6.6%減）、一般が31万7600円（同2.1%減）。年間賞与の1か月平均額を加えた月額で、特積は36万8700円（同7.3%減）、一般は35万4700円（同3.7%減）となった。さらにトラック運送事業全体（運転者、事務員、荷扱手、整備・技能員）では、全職種平均賃金が31万6600円（同4.4%減）、年間賞与の1か月平均額を加えた月額で36万円（同6.2%減）だった。

男性のトラックドライバー（けん引、大型、中型、準中型、普通）の賃金は、特積が1人1か月平均賃金で33万6000円（同7.1%減）、年間賞与の1か月平均額を加えた月額で37万2000円（同6.3%減）だった。職種別では、平均賃金の高い順に、特積は大型、けん引、普通、準中型、中型の順だが、一般ではけん引、大型、中型、準中型、普通の順となり、賃金十賞与で最も高いのはけん引、最も低いのは中型で、その差額は7万2500円。トラックドライバーの平均年齢は男性運転者で48.0歳（前年46.0歳）、そのうち、特積が46.3歳（同45.5歳）、一般が49.0歳（同46.6歳）で、運転者から事務員、荷扱手、整備・技能員までの職種を含めた男女あわせ全職種の平均年齢は47.0歳（同45.4歳）と発表した。（小澤 裕）